

復興民へメッセージをつなぐ

リレーインタビュー

今日は... **長谷川 聖修さん**

(筑波大学運動学教授)

どんな活動をされていますか？

つくしま体操教室を開いています。福島から避難されている復興民とつくば市民が、JG体操を通して、楽しく体を動かしながら交流していただけるような場をつくっています。これをきっかけに、つくしまの皆さんが交流を深めていただければと思います。

活動のきっかけは？

昨年5月いわきのがれき処理に行きました。土手が片付き、きれいな姿になったとき景色はすばらしかった。がれき処理は筋トレにもなるし、竹藪を使ったポールストレッチは、最高です。

メッセージをお願いします

避難先がいくつもある中で、つくば市を選んでいただいたことに、つくば市民として感謝したいです。

福島の実験は、みんなが共有すべきもの。それは、悲愴な事実を知るといふことだけではありません。苦境に立たされてもそれを乗り越え、なお明るく朗らかに生きられている福島のおみなさんの姿勢から、私たちは多くのことを学ばせていただいています。

☺ **共に顔晴朗!** ☺

加藤梨乃



つくしま体操教室

- ・ JPKウォッシュとGボールを使って「くらくら」を繋いだJG体操。
- ・ 毎週月曜日午前10時～11時
- ・ 筑波大学体育系B109教室にて開催中!



農業系サークルのうりんむら

はじめまして! 筑波大学生物資源学類1年の加藤です。今回は私がこの村で体験した、面白いお話をさせていただきます

募集

農業の愛熱意願い...
何でも構いません。ぜひみなさまのお声をお寄せください! この新聞を通して、思いを共有しませんか? お待ちしております!

私が所属する生物資源学類では、農業について学びます。しかし、どちらかというと座学が多め。『どくらたらも、農業を学べるだろうか?』「学校では教えてくれない農業を学ばたい!」そんな思いを持つ仲間達が集まり、実際に畑や田んぼで作業をする、そんなサークルが「のうりんむら」です。

6ヶ月の体験

五月五日、子供の日。この日はお天気にも恵まれて、絶好の田植え日和でした。うるち米もち米を植えたのですが、さすがに植えるのに苦戦... (お米はまだですが) 収穫のあたたかさを味わいましょう!



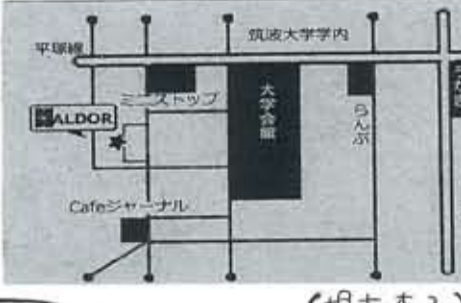
10/6.7 学園祭のうりんむらも出展します! 火田とれた野菜はもちろんです。おいしいご飯も販売する予定です。みなさまぜひぜひお立ち寄りくださいませ。これも販売します!

ALDOR

"ALDOR"ってなあに?
筑波大生が中心となって運営するカフェです! 「人々をつなぐつくばのアイデア発信基地」として今年1月14日にオープンしました!

おすすめのメニューは?
ALDORのおすすめメニューは、れんこん入りの鶏つくねとたっぷり野菜、半熟卵ののった「つくば丼」!! ヘルシーでボリューム満点。大満足な一品です。他にもじっくり煮込んだカレーや丁寧にいれたコーヒー、おいしいワッフルなどもあります。

ALDOR代表 加藤 遼平 からのひと言!
Spice up cafe ALDORは、より多くの人にもっともっと復される空間を目指します。一緒に人をつなぐ力を広げ、アイデアを発信し、つくば市をわくわく感溢れる街にしませんか?



開店: 毎週 土・日
時間: 11:00 ~ 20:00 (ラストオーダー 19:30)
所在: つくば市天保3-3

月刊つくしまでは、お便りを募集しています!! 記事や言説にのご意見・ご感想、読者のみなさまからの投稿も大歓迎です! あて先はこちら↓

〒305-8577
つくば市天王台1-1-1 筑波大学1D棟3階 T-ACT
Tsukuba for 3.11 加藤梨乃宛

つくしま

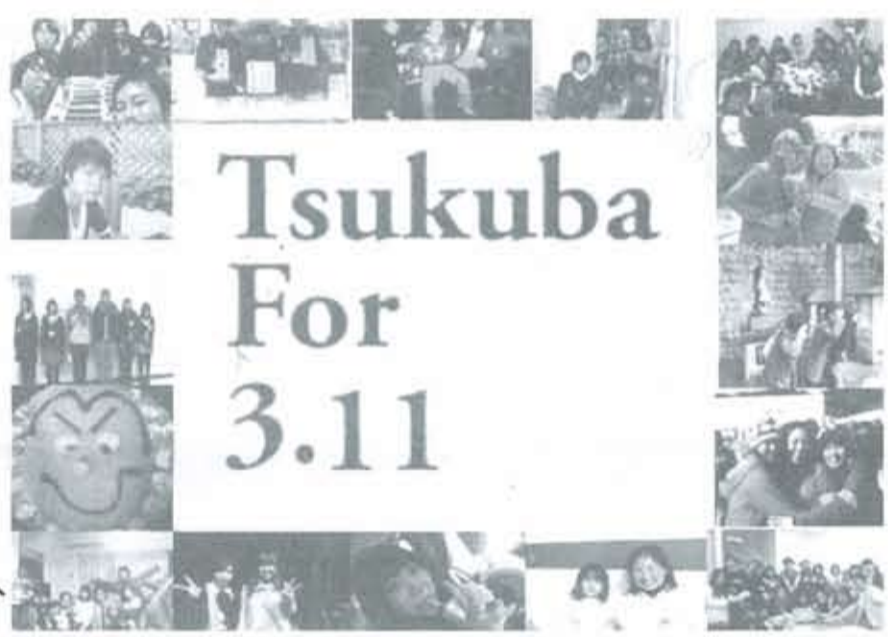
第1刊「記念お生!!」
2012年6月25日発行
Tsukuba for 3.11
[題字: 小中大地]

Tsukuba for 3.11



皆様、初めまして。私たちは、「Tsukuba for 3.11」という団体です。「Tsukuba for 3.11」とは、2011年3月11日、東日本を襲った未曾有の大震災、「東日本大震災」をきっかけに発足しました。運営メンバー約20人からはほとんどが筑波大学生です。学生たちは、つくば市で東日本大震災を経験しました。つくば市自体も地震の影響で、停電や断水が起きました。地震直後は、ほとんどの学生が一人暮らしのため、自分のことで精一杯でした。しかし、一ヶ月が過ぎた頃、だんだんと、岩手・宮城・福島の大震災者のために「何か助けになりたい」と思うようになり、そこで、「被災者支援・被災地復興・長期的サポート」を目的とし、「何かしたい」という気持ちを原動力に、個人個人の発想の下、活動を始めました。「つくばチーム」「気仙沼チーム」といって、チームに分かれ、被災地への直接的な訪問支援、つくば市内避難されている方々を対象としたイベントの企画、筑波大学内での活動報告会、5月にあった竜巻の復興支援を行いました。

そして、この「月刊つくしま」。福島県からつくば市への避難者は約400人と言われています。つくば市内の並木・竹園・吾妻などの公務員、



宿舎に、住んでいた町など関係なく暮らしているの聞ききました。私たち「Tsukuba for 3.11」は、福島に住んでいた方同士の交流、福島に住んでいた方とつくば市民の交流、さらには、筑波大学生との交流を目的に、3点をつなぐために、「月刊つくしま」を今月から発行することを決めました。「つくしま」福島で「つくしま」という名前になりました。この新聞では、私たち筑波大学生からつくば市の情報、福島県の情報、皆様からの情報、皆様から伝えたかへの伝言など、より多くの情報をお伝えしようと思っております。何か載せてほしい情報がありましたら、ごんごんお寄せください。これらがどうぞ、よろしくお願いたします。

木村奈那子

編集後記

つくしまを読んで頂き、ありがとうございます。福島とつくばを繋ぐよき素高な新聞を目指して頑張るので、これからよろしくおねがいします。 相本杏子

「はじめまして!! この新聞では意見等募集です。みなさんと一緒によいものを作ってほしいと思います!!」 福井俊介

つくしま第1刊いかがでしたでしょうか? 今後みなさまがほっと思っているのは新聞にしたいと思っていますので、よろしくおねがいします。お読みいただいた全の方に感謝!! 加藤早織

「はじめて手探り状態の月刊「つくしま」。筑波大からあ、よいコミュニティ新聞をお届けできたいと思います。 加藤 梨乃

みんなみんなありがとう!! この出会い、奇跡に感謝!! 吉井玲香

「つくしま」は、福島に住んでいた方同士の交流、福島に住んでいた方とつくば市民の交流、さらには、筑波大学生との交流を目的に、3点をつなぐために、「月刊つくしま」を今月から発行することを決めました。「つくしま」福島で「つくしま」という名前になりました。この新聞では、私たち筑波大学生からつくば市の情報、福島県の情報、皆様からの情報、皆様から伝えたかへの伝言など、より多くの情報をお伝えしようと思っております。何か載せてほしい情報がありましたら、ごんごんお寄せください。これらがどうぞ、よろしくお願いたします。

木村奈那子

筑波大学に入学して早々、このように新聞製作に関われる光栄です。これから自分自身ができることを一杯やっ、えいこうと思っております。よろしくおねがいします。 木村奈那子

イラスト・編集 吉井玲香

みんなおねがい!